

ていました。ぜひ、そのことで話し合いを
したいと思います。

C： ぼくも、どの高校にするかだけでなく、
将来のことを話したいと思うんですが。

T： じゃ次は、将来のことについて話し合うこ
とにしようか。

:

○ 話し合いの最後には、自己評価により個人ごと
にまとめを行うようにした。(資料9参照)

○ 話し合いの中で出された一人一人のよさとその
ことに気づいたすばらしさは、機会をとらえて個
人ごとに言葉をかけ、そこで伝え返すようにした。
また、その中のいくつかは、個人の了解の後に
学級全体へも伝え、互いのよさを認め合うことへ
の強化を図った。

③ 事後の段階

合計3回の話し合いを実施したが、事後の段階で
は次のような点に留意して指導援助にあたった。

(資料9) 小集団による話し合いの自己評価の一部 <中学2年生 C男>

4 これまでの話し合いの中で、特に印象に残った友達の名前と、その理由を書いてください。
(何人書いてもかまいません)

友達の名前	その理由
E 男 君	今から、自分の住みたい高校が決まっています。これから何を きちんと考えていることがすごいと思った。
F 男 君	友達の家猫のことを心配していたので、優しいと思った。
G 子 君	高校のことを考えていたので、おどろかした。すごいと思った。

5 その他、感じたことを自由に書いてください。

みんなとは、学級と一緒に、ほとんど話をしなかったので、少しの時間だ、
たけど、みんなが考えていることが、少して、わかっていた。よかったと思っ
た。これから、学級の中で、いろいろ話をしてみたいと思います。

V 児童生徒の変容

1 順応児童生徒の変容

まず、前述した順応児童生徒A子、B男、C男の
変容をみることにした。特に変容の大きくみられた
点について以下に述べる。なお、アンケートの事前
調査は平成8年6月に、事後調査は平成8年12月に
実施したものである。

(1) A子 (小学校4年P組)

① 構成的グループ・エンカウンターを通して
友達のよいところを知るための演習として、最初
に『あなたへのメッセージ』を分割で実施した。こ
の演習は、昨年度も実施しているが、「4年生になっ
て新たに見つけた友達のよいところを書いてみよう」
と投げかけて開始した。

(資料11) は、昨年度と本年度のA子の振り返り
用紙を比較したものである。昨年度の「印象に残っ